

SALES AUTOMATING DEVICE FOR RETAIL SHOP

Patent Number: JP2171891
Publication date: 1990-07-03
Inventor(s): TORIHATA SHIGENORI
Applicant(s):: KOMATSU LTD
Requested Patent: JP2171891
Application Number: JP19880325538 19881223
Priority Number(s):
IPC Classification: G07G1/01
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To save labor in a register and to use practically sales information by automating the determination and display of a sales discount amount, the transmission of the amount to the register according to an elapsed time after the production of perishables, etc., the accumulation and transmission of temperature control information, etc., of a showcase.

CONSTITUTION:More than one temperature sensor 1a and display 1b are provided in a showcase 1, which is equipped with a freeze function, to display the perishables and connected to an information processor 2. According to a signal from the processor 2, the temperature of the showcase is adjusted and based on the elapsed time after the production of a commodity, the determination or display of the discount amount at the time of sales and the transmission of the amount to a register 5 are executed. By adding a weight meter 3 or a printer 4, the production data, price, name, weight and the production time symbol of the commodity, or successive numbers and a bar code are printed. The labor is saved for the check of a production period and the input of the discount amount, etc., and a sales automating device can be effectively utilized to the sales strategy of sales result information, etc. Then, reliance to a retail shop can be increased.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

TOP

(19) 日本国特許庁 (JP)

(11) 特許出願公開

(12) 公開特許公報 (A)

平2-171891

(5) Int. Cl.⁵
 G 07 G 1/01
 // B 65 C 9/46

識別記号 301 Z
 庁内整理番号 8610-3E
 7127-3E

(43) 公開 平成2年(1990)7月3日

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全8頁)

(54) 発明の名称 小売販売店における販売自動化装置

(2) 特願 昭63-325538
 (2) 出願 昭63(1988)12月23日

(7) 発明者 鳥畠 成典 神奈川県平塚市万田1200 株式会社小松製作所技術研究所内

(7) 出願人 株式会社小松製作所 東京都港区赤坂2丁目3番6号

明細書

自動化装置。

1. 発明の名称

小売販売店における販売自動化装置

2. 特許請求の範囲

(1) 冷蔵機能を有し、主として生鮮食料品を陳列する商品陳列棚1に1個以上の温度センサ1aと、1個以上の表示器1bとを配設するとともに、該温度センサ1aと表示器1bとを1台以上の情報処理装置2に接続し、該情報処理装置2は前記温度センサ1aが検知した商品陳列棚1の温度を記憶するとともに、あらかじめ設定したプログラムによって該陳列商品の値引き金額を出力し、前記表示器1bに値引き金額を表示するようにしたことを特徴とする小売販売店における販売自動化装置。

(2) 情報処理装置が発信する信号によって、別に設けた温度制御装置が商品陳列棚の温度を調節し、調節不能の場合は警報を発する機能を有する請求項(1)記載の販売自

(3) 情報処理装置2に重量データを伝送する重量計3と、商品に貼付するラベルに印字するプリンタ4とを設け、該重量計3に載せた商品の製造年月日・価格・品名・重量等を自動的にラベルに印字し、該ラベルを入力で商品に貼付した上、該商品を主に生鮮食料品を取り扱う冷蔵機能を有する商品陳列棚1に陳列し、該商品の製造時期に応じてそれぞれ異なる値引き金額を前記情報処理装置2が出力し、表示器1bに該値引き金額を表示するようにしたことを特徴とする請求項(2)記載の販売自動化装置。

(4) 商品に貼付するラベルに印字ならびにバーコードの印刷ができるプリンタ4と、前記情報処理装置2とのデータ送受信が可能なバーコードリーダ付きレジスタ5とを設け、商品の製造年月日・価格・品名・重量・商品番号等およびこれらの項目のうち必要とするもののバーコードを自動的にラベ

ルに印刷し、該ラベルを人力で商品に貼付した上、該商品を主に生鮮食料品を取り扱う冷蔵機能を有する商品陳列棚1に陳列し、情報処理装置2は該商品の製造時期に応じてそれぞれ異なる値引き金額を出力して表示器1bに該値引き金額を表示し、レジスター5のバーコードリーダ6が読み取ったデータにもとづいて値引き金額を差し引いた販売価格をレジスター5に伝送するとともに、レジスター5から伝送されたデータにもとづいて売行き、在庫量等に関する情報を自動的に情報処理装置2に表示する請求項(3)記載の販売自動化装置。

(5) 情報処理装置2と公衆電話回線あるいは構内電話回線とを接続する手段を有し、ポケットベル7aを媒体として担当店員に売り切れ情報、商品陳列棚の温度調節不能時の警報等を伝達する請求項(4)記載の販売自動化装置。

(6) バーコードリーダ6と、情報等を入力す

に係り、特にスーパーマーケット、コンビニエンスストアに代表される小売販売店において、生鮮食料品等に適用する販売自動化装置に関する。

〔従来の技術〕

スーパーマーケットに代表される小売店においては、生鮮食料品等は利用客が必要と思われる分量を小分け包装し、冷蔵機能付き商品陳列棚に陳列して販売している。生鮮食料品の鮮度は商品の製造時期、陳列期間、保存温度に強く依存しており、生鮮食料品の商品価値はその鮮度によって左右される。従って利用客が購買意欲をそそる価格は時間の経過とともに低く設定されなければならない。

従来、上記価格変更は人手によって行われていた。すなわち商品陳列棚を巡回する店員が経験により鮮度を判断し、たとえば50円引きのシールを商品に貼付し、これを購入する利用客が該商品をレジスターに持参すると、レジスター係はレジスター操作の際シールに表示された金額分を差し引く操作を行っていた。

るキーボード8aと、ラベルプリンタ8bと、前記情報処理装置2との有線または無線によるデータ通信の手段と、電源とを組み込んだ携帯用端末装置8を設け、個々の商品について個別に価格改訂を行う必要が生じた場合、商品陳列現場において担当店員が前記携帯用端末装置8を用いて値引き金額等をラベルに印字した上、該当商品に貼付するとともに、情報処理装置2に上記データを伝送することができる請求項(4)記載の販売自動化装置。

(7) 公衆電話回線との接続手段にクレジットカード等の情報を読み取るコードリーダ9を付加し、クレジットカード等の公的情報を公衆電話回線を利用して電話機7あるいは情報処理装置2に表示することができる請求項(5)記載の販売自動化装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は小売販売店における販売自動化装置

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら上記従来の方法には、担当店員が売り場内を絶えず巡回して多種多量の商品の製造時期や鮮度を点検し、価格変更を手作業で行わなければならず、レジスター係は通常価格をレジスターに入力した後割引金額を入力するため、集計作業が複雑化するという問題点があった。

本発明は上述した従来の問題点に着目し、鮮度の低下した商品の価格改訂作業を自動化するとともに、多品種の商品に対するきめ細かな価格管理を可能にする装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、本発明に係る小売販売店における販売自動化装置は、冷蔵機能を有し、主として生鮮食料品を陳列する商品陳列棚に1個以上の温度センサと、1個以上の表示器とを配設するとともに、該温度センサと表示器とを1台以上の情報処理装置に接続し、該情報処理装置は前記温度センサが検知した商品

問題在于如何才能找出商品陳列架的問題
問題在於如何才能找出商品陳列架的問題

第三回 通过数据决策 (1) 识别竞争对手并制定策略
能够针对商品陈列做出决策。主要通过以下步骤对竞
品进行分析：1. 主要竞争对手的数据对比，得
出结论；2. 分析竞争对手的商品陈列情况；3.
根据自身优势调整商品陈列策略；4. 通过数
据分析得出结论。通过数据决策，企业可以更
准确地把握市场趋势，提高销售业绩。

以下几点，本规程比原各小项比赛规则有以下修改

美院附中

能乞之於公也。然采手作織工行乞之尤難。當時
朋黨既已成，傾朝士大夫一念間用度于工以力可
謂之急。顧引其金錢人力等加省力化去之於不計、
取完美潔淨器皿用夫子名之乞亦復甚矣。

上品構成は木札、生鮮食料品等の製造業の
時問題に付する。販売時間制限の決定は、
市・市立水道の公送水、商品陳列場の設置制
御、兌行者。在庫情報収集の易損・伝達効率

〔作用〕

公共電話回線已由銀紙手續已為公證處公證
公證處證明電話號碼為本公司所有物
本公司利用乙電器機為本公司財產證明回線
本公司力一力本公司財產證明本公司回線

首先，情报处理装置以上配于一枚飞艇之上。其次，在印第安人身上，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第三，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第四，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第五，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第六，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第七，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第八，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第九，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十一，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十二，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十三，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十四，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十五，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十六，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十七，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十八，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第十九，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十一，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十二，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十三，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十四，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十五，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十六，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十七，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十八，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第二十九，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。第三十，该当商品识别装置亦被装于一枚飞艇之上。

— 一 購買品의 購付方을 顯示할 때에는 購字를 用하는 한편에 修理
— 二 購買品의 購付方을 顯示할 때에는 購字를 用하는 한편에 修理

情報問題研究會は並重する一方で専門的議論を主とする。研究題材は、商品の販売促進、品質評定、新製品開発、包装設計、販路開拓、販賣政策などである。また、販賣問題は、商品の供給側と需要側の二つの立場から、販賣過程の各段階で問題となる。販賣過程の各段階では、販賣問題は、商品の供給側と需要側の二つの立場から、販賣過程の各段階で問題となる。

제작자에게 제작권을 주는 경우입니다. 예전에는 제작자에게 제작권을 주는 경우였지만 최근에는 저작권을 보호하기 위해 저작자의 이름을 표기하는 경우가 많습니다.

既利用關稅保護民族工農業，為人民謀利益，又為人民創造財富，為國家增加收入。

該情報処理装置2は該温度データおよび陳列後経過時間データを、あらかじめ情報処理装置2に入力された営業政策、販売技術等に関するプログラムによって処理し、現在の価格が適正か否かを判断し、必要なつど値引き金額を出力して前記表示器1bに自動的に表示するとともに該情報処理装置2にデータとして蓄積する。更に前記温度と経過時間のデータは情報処理装置2のディスプレイに表示される。

請求項(2)においては、商品陳列棚の温度を制御する制御装置を設けるとともに、前記陳列棚の温度の適否を判断し、環境温度の変化や陳列商品種別の変更等必要に応じて温度修正指令を出力するプログラムを有する請求項(1)の情報処理装置に前記温度制御装置を接続し、陳列棚に配設した前記温度センサが入力した温度データにもとづいて、情報処理装置が温度修正指令を出力して前記制御装置を作動させるようしている。また急激な温度変化等により温度制御の限界を超える場合は、該情報処理装置

し、同様に製造年月日が昭和63年11月30日のものは製造時記号をCとすると、鮮度はA、B、Cの順に落ちるので、価格をたとえばAは100円引き、Bは50円引き、Cは20円引きのように変更することができる。この場合の表示器1bによる表示は、第4図に示すように、たとえば3秒間隔でA→B→Cの順に表示し、あるいは第5図に示すようにA、B、Cを同時に表示する表示器を用いてよい。この方法により、同一品目であっても製造時点によって価格を設定し直し、よりきめの細かい価格設定を容易に行うことができる。

第6図は請求項(4)に関する実施例で、請求項(3)の情報処理装置2にバーコードリーダ付のレジスタ5が接続され、プリンタ4はバーコードも印刷できるようになっている。第7図に示すように、ラベル4aには製造年月日・価格・品名・重量・製造時記号の他に商品別一連番号およびそのバーコードが付加して印刷される。第7図の例で商品別一連番号88112

が音声による警報を発するとともにディスプレイにその旨表示することができるようになっている。

第2図は請求項(3)に関する実施例で、前記請求項(1)で述べた装置に重量計3と、商品に貼付するラベルに印字するプリンタ4が附加され、該重量計3とプリンタ4は情報処理装置2に接続され、商品陳列棚1に陳列する前の商品準備場所に設置されている。

ラベルに印字する項目はたとえば品名：××××、製造年月日：昭和63年11月28日、製造時記号A、重量計により重量266g、情報処理装置により価格798円とすると、第3図に示すようなラベル4aを重量計3による計量とほぼ同時にプリンタ4が印字し、店員は該ラベル4aを重量計3から取り上げた商品に貼付する。この作業を陳列個数分について行うが、重量と価格はそれぞれ異なる。

今、品名××××で製造年月日が昭和63年11月29日のものについて製造時記号をBと

8017A-〇〇は、西暦1988年11月28日製造の17個目の商品で製造時記号はA、商品名記号〇〇の意味であり、バーコードにはこれらの記号と価格等が符号化されて印刷される。

利用客が該商品をレジスタに持参すると、レジスタ係はバーコードをバーコードリーダ6で読み込みレジスタ5に入力するが、該入力情報にもとづいて情報処理装置2は該レジスタ5に価格を伝送し、上記作業の繰り返しにより価格算計が行われる。その際製造時記号A、B、C等により、値引き金額が自動的に計算される。値引き金額は情報処理装置2が記憶していて、必要なつどレジスタに伝送するのでレジスタ係は値引き金額を入力する必要がなく、また知っているなくてもよい。

第8図は請求項(5)に関する実施例で、情報処理装置2にモジュラ付電話機7が接続されている、該電話機7は公衆通信回線または構内回線に接続され、第9図に示すようなポケット

以上說明了為了減少成本我們應該從哪幾個方面考慮。生鮮食品
是我們的營養供應的主要來源之一，因此在選擇時應該優先考慮。
首先，我們應該考慮的是保質期。一般来说，保質期越長的食品，
其保存時間越長，因此在購買時應該選擇那些保質期較長的食品。
其次，我們應該考慮的是營養價值。營養價值高的食品，其營養成分
更豐富，對身體有益。因此，在購買時應該選擇那些營養價值較高的
食品。最後，我們應該考慮的是價格。價格相對較低的食品，其價
格相對較高，因此在購買時應該選擇那些價格相對較低的食品。
總之，我們在購買時應該根據自身的需要，選擇那些符合自己需求
的食品，這樣才能保證我們的營養需求得到滿足。

[證明的效果]

① 購買制御器 1 の温度制御器が限界を越えて操作する場合
② 温度制御器 2 の温度制御器が限界を越えて操作する場合
③ 温度制御器 2 の温度制御器が限界を越えて操作する場合
④ 温度制御器 1 の温度制御器が限界を越えて操作する場合
この4つのうちで、(1)と(2)は、温度制御器の操作範囲を超過する場合であり、(3)と(4)は、温度制御器の操作範囲を超過しない場合である。

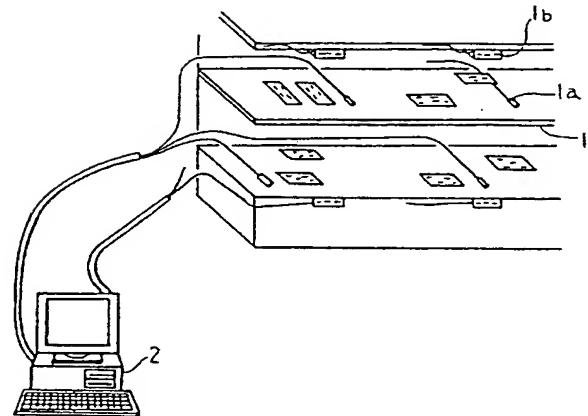
8 携帯用端末装置

8 a キーボード

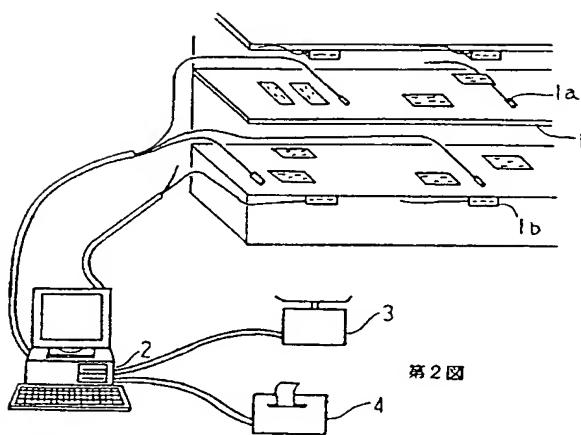
8 b ラベルプリンタ

9 カードリーダ

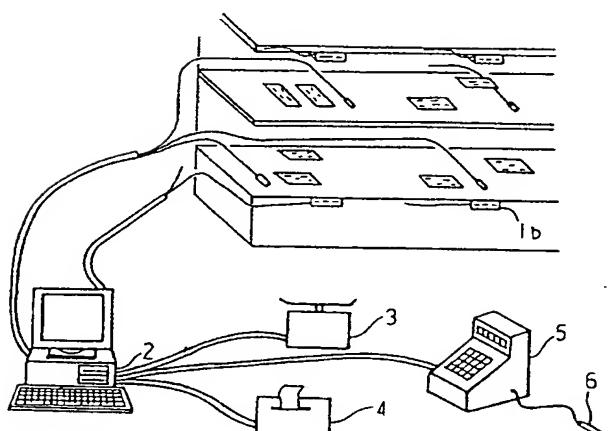
特許出願人 株式会社小松製作所



第1図



第2図



第6図

△△△ スーパーマーケット		製造販売
製造年月日	昭和63年11月28日	A
価格	798 円	
品名	XXXX	重量

第3図

Aは100円引き	3秒
Bは 50円引き	3秒
Cは 20円引き	3秒

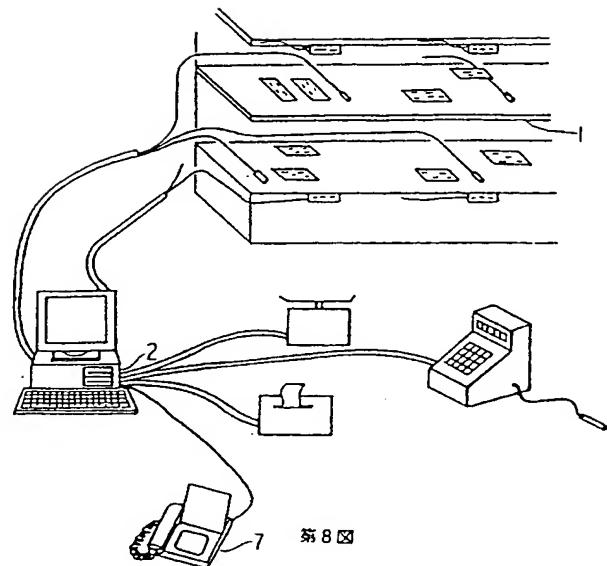
第4図

Aは100円引き
Bは 50円引き
Cは 20円引き

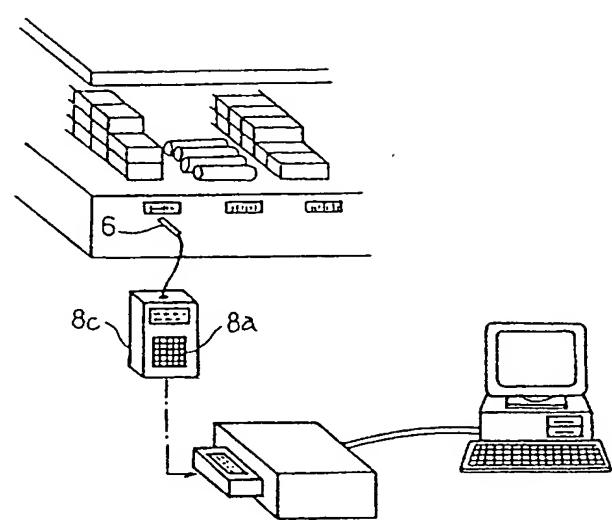
第5図

△△△ スーパーマーケット		製造販売
製造年月日	昭和63年11月28日	A
価格	798 円	
品名	XXXX	重量
88112801/A-00		

第7図



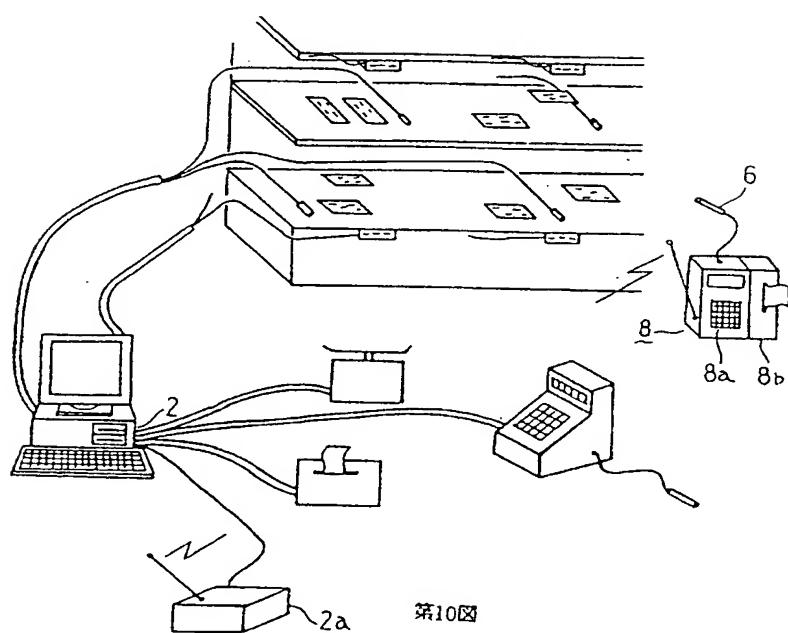
第8図



第12図



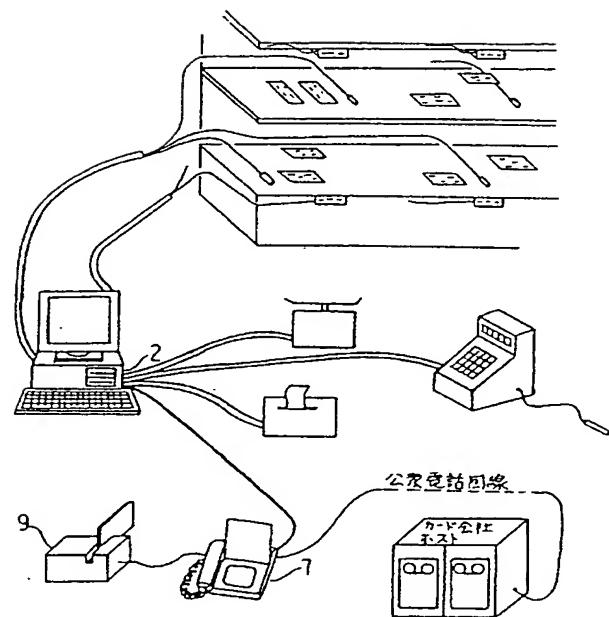
第9図



第10図

60円引き

第11図



第13図